

事務事業名 人形劇のあるまち推進事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1070

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-11-00
基本事業：	04	文化・芸術活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	子育て世代の親子を対象とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数 文化会館を拠点とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画				
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）								
ちくしの人形劇まつり実行委員会			平成15年度のプレ国民文化祭を契機に始めた事業である。人形劇の観劇を通して、子どもたちの感性を育むため、子どもに関する団体や劇団を中心に実行委員会を組織し開催している。								
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
人形劇に親しみ、特に実際の社会体験を積むことができない就学前の子ども達が劇に入り込むことにより社会経験を積み、豊かな情操を育て、社会規範を身につける。											
4. 成果（簡易評価は未記入）											
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標		
人形劇まつり来場者数		人	120	0	2,100				2,500		
5. コスト											
事業費		計	千円	235	2	800	800				
		国	千円	0		0	0				
		県	千円	0		0	0				
		地方債	千円	0		0	0				
		その他	千円	0		0	0				
一般	千円	235	2	800	800						
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.7	0.7					
正職員人件費		千円	5,620	5,545	5,410						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,855	5,547	6,210	800					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）											
あがっている	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者を制限し開催した										
どちらかといえばあがっている											
あがっていない（停滞・低下）											
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）											
対象動向	維持	類似事業	なし	演じる劇団員、お世話する実行委員ともが高齢化しており、人形劇存続のためには次世代育成が課題となる。							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし								
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし								
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり								
成果向上余地	中程度										
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）											
新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催方法を検討											
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄								
平成15年度のプレ国民文化祭を契機に始めた事業である。平成17年度以降は県民文化祭の事業として行っているが、県の助成金は平成23年度で終了した。一方、子どもの教育への関心は年々高まり、また、人形劇を文化として根付かせ、地域づくりに活かしていきたいという声がかかれ、その機運が高まりつつある。											